

一般社団法人市駅グリーングリーンプロジェクト（和歌山県和歌山市）

和歌山市駅周辺を人と環境にやさしい「緑と憩い」にあふれるまちへ

Basic information

法人設立年月日	2018年
指定年月日	2019年
資本金等	0千円
株主・構成団体等 (出資割合)	和歌山市駅周辺でまちづくり活動に取り組む商業者・企業・住民有志・大学関係者により構成
職員数	0名

■ 法人の紹介

和歌山市駅周辺のまちづくりを担う地域団体として2014年に発足した「市駅まちづくり実行会議」（商店街・自治会・大学研究室の協働組織）を母体として設立した、市駅地区のエリアマネジメント推進組織です。公民学の連携により、市駅周辺の歴史文化や自然資源、生活・生業や公共空間などの地域資源を活かした持続可能なまちづくりを目的として活動しています。

■ 官民連携による事業推進体制

役員メンバーによる定例会議（理事会・三役会）を開催するとともに、活動内容に応じて和歌山市都市再生課等との協議や意見交換の場を設けています。また和歌山市のまちなかエリアプラットフォーム（MAPWA）への参画を通じて、中心市街地で活動する他のまちづくり会社等とも連携を行なっています。

■ 活動エリア（市駅地区）

南海和歌山市駅を中心とする徒歩圏内（おおむね半径600～800m圏内）を中心に活動しています。



Project

1 シエキノカワでピクニック。

（収益事業・**非収益事業** / 公有地・民有地）

■ 市駅近くの紀の川河川敷を活用する社会実験

南海和歌山市駅の北側（徒歩約7分）を流れ、和歌山市を育んだ紀の川を市駅周辺の貴重な地域資源として捉え、身近な憩いの場としての河川敷の魅力と可能性を発信するための社会実験「シエキノカワでピクニック。」を2018年から実施しています。2020年・2021年はコロナ禍の状況を踏まえ、集客型コンテンツを削減・縮小しながら、夕暮れの時間帯を中心に人々がゆったりと過ごせる水辺の憩いの場づくりに取り組んでいます。



▲2020年9月に実施した社会実験「夕暮れのシエキノカワでピクニック。」の様子

2 情報発信サイト「しえきのいま」

（収益事業・**非収益事業** / 公有地・民有地）

■ 市駅周辺の公共施設のイベントやまちの催しなどを発信するWebサイト

市駅周辺のまちを、にぎわいと憩いに満ちた「リビング（居間）」のような場所に変えるための現在進行形（いま）のさまざまな取り組みの発信をコンセプトに、市駅周辺の公共施設（市民図書館、市立博物館、市立こども科学館）のイベント情報やまちの催し、当法人が運営する子育て支援拠点施設「育ちのえきくすの木」など、まちの情報を発信するWebサイトを運営しています。



Hot topic

■ 市駅前広場の活用の推進

市駅の再開発事業により2020年末にリニューアルされた和歌山市駅の駅前広場は、歩行者空間を拡充し、イベント等での積極的な活用が期待されています。

（一社）市駅 GGPでは、和歌山市、南海電鉄、CCC（市駅に隣接する和歌山市民図書館の指定管理者）とともに、イベント等による駅前広場の活用を推進しています。



▲2020年に完成した和歌山市駅の複合施設「キーノ和歌山」

Tool

活用している各種まちづくり制度

現時点で活用しているまちづくり制度はありませんが、これまで社会実験を実施してきた市駅前通り（市道と和歌山市駅前線）の歩行者空間拡充に向けた検討を和歌山市と連携しながら進めており、リニューアル後の市駅前通りを、駅前広場と一体的に維持管理・活用を図ることを見据え、都市再生整備計画の提案や都市利便増進協定の締結等についても検討を行なっています。



市駅周辺のまちの情報発信サイト「しえきのいま」

<https://shiekigpp.com>